

レジメン名	催吐リスク
大腸がん CAPOX	中等度

適応	術後補助化学療法 および 切除不能な進行・再発の 結腸・直腸がん
投与期間	3週間を1コースとして 【術後補助化学療法:8コース】 【進行・再発の場合:不応になるまで継続】

	薬品名	投与量	投与ルート	投与時間	備考
①	グラニセトロンバッグ [®] 3mg(1mgでも可) +デカドロン注6.6mg 1~2V		点滴	30分	
②	オキサリプラチン (L-OHP) 5%ブドウ糖液250mL	130mg/m ²	点滴	2時間	
③	カペシタビン	※下記用量	内服	2週間服用 1週間休薬	Day1の夕食後から開始

※ カペシタビン投与量

体表面積	用量
1.36m ² 未満	1200mg/回 × 2回/日
1.36~1.66m ²	1500mg/回 × 2回/日
1.66~1.96m ²	1800mg/回 × 2回/日
1.96m ² 以上	2100mg/回 × 2回/日

投与スケジュール

薬品名	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
オキサリプラチン		↓																				
カペシタビン		↓ 夕	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓ 朝	休薬					

Day1

- ①グラニセトロン+デカドロン (30分)
- ②オキサリプラチン 2時間
- ④カペシタビン Day1夕~Day15朝まで

減量規定及び中止基準
<ul style="list-style-type: none"> ・Grade 3 の有事事象 (オキサリプラチン100mg/m² → 85mg/m²、カペシタビン減量1~2) ・Grade 4 の有事事象 (オキサリプラチン投与中止または85mg/m²、カペシタビン投与中止または2段階減量)